

広島大学マスターズ 通信第1号

目 次

1. 専用メール・アドレスを開設しました
2. 第1回マスターズ例会案内
3. 広大マスターズ設立総会報告
4. マスターズのロゴ決定しました
5. 「マスターズ通信」など本会のHPの作成者募集します

1. 専用メールアドレスを開設しました

広島大学マスターズがさる12月2日(土)設立総会が開催され、同日づけで設立されました。その活動に各方面からも大きな期待をよせられております。そのために幹事会と会員、会員間の情報交換は、私たちの会の生命線であります。

このたび、会員のメール・アドレスを広島大学のMLに登録するとともに、広大のほうでマスターズのメール・アドレスを、以下の通り開設してもらいました。マスターズ事務局にご用、問い合わせがある場合には、ご利用ください。

sec-masters@phoenix.hirodai.jp

2. 例会案内

第1回マスターズ例会のご案内

厳寒の候、会員の皆様にはますますご清栄のことと存じます。

”酒都西条“を掲げる東広島市はいま日本酒の仕込みの真っ盛りです。広大マスターズの会員相互の親睦と交流を図る企画として、第1回例会を東広島市のサイエンスパークにある「独立行政法人酒類総合研究所」の見学会を下記の通り企画いたしました。会員の皆様多数のご参加をお待ちしております。

記

期 日：2007年1月17日【水】午後2時～3時30分

場 所：独立行政法人 酒類総合研究所【添付の地図参照】

見学内容： 施設の説明、 施設の見学、 仕込み作業の見学、 利き酒

経 費：無料

注意事項：利き酒を行いますので、お車での直接のお越しはご遠慮ください。

交 通：西条駅前から、13：30 発、「呉・広行き」のバスを利用して、「水源地前」で下車してください(西条駅前からは、00分、30分の30分ごとに便があります)。「水源地前」バス停から酒類総合研究所までは徒歩5分くらいです。

申込み先：Eメールまたは郵便で、1月15日【月】までに下記へお申し込みください。

Eメール：sec-masters@phoenix.hirodai.jp

〒739-0043 東広島市西条西本町 28-6 サンスクエア東広島 3F
広島大学サテライトオフィス内
広島大学マスターズ事務局

酒類総合研究所は、酒類に関する研究機関として、法律に定められた次の目標達成に努力しています。

1. 酒税の適正かつ公平な賦課の実現を図ること。
2. 酒類業の健全な発達を図ること。
3. 酒類に対する国民の認識を高めること。

酒類醸造に関する研究などの活動を通して、21世紀における我が国の酒類業の発展と豊かな国民生活に貢献すると共に、合わせて酒類先端技術の発信基地としてライフサイエンスの発展に貢献し、豊かな社会の創造を目指します。【酒類総合研究所HPより】

独立行政法人酒類総合研究所の案内図



3. 総会報告

広島大学マスターズ設立総会報告

去る12月2日(土)14時30分から16時30分まで、広島大学学士会館「ラ・ボエーム」で開催された。会員は総数54名。顧問2名、正会員45名、協力会員5名。設立総会出席者30名。

発起人代表金田晉の挨拶につづいて、蔵田義雄東広島市長と牟田泰三広島大学長が

期待と激励の祝辞を述べられた。

1. 議事に入り、本会設立に至る経過報告の後、発起人会で承認された会則案が審議され、承認された。

会則（抄）

2 目的：本会は、主として、以前広島大学に在勤し（非常勤職員を含む。）現在東広島市に在住している者（現常勤職員を除く。）が、広島大学の行う社会連携等各種事業を支援し、併せて大学のある都市としてふさわしいまちづくりに協力するとともに、会員相互の親睦・交流等を深めることを目的とする。

3 事業：本会は、次の事業を行う。

- (1) 広島大学が行う社会連携等各種事業に対する支援
- (2) 大学のある都市としてふさわしいまちづくりのための活動及び市民の生涯学習に対する支援
- (3) 会員相互の親睦、交流
- (4) その他本会の目的達成のため必要な事業

4 会員：本会は、次の会員をもって構成する。

- (1) 正会員 東広島市在住の広島大学退職者（非常勤職員を含む）又はそれに準じる者
- (2) 協力会員 本会の趣旨に賛同し、その活動、運営を積極的に支援する者

5 運営：本会は、次の体制でもって運営する。

- (1) 本会は、正会員のうちから代表幹事及び幹事（若干名）を選任し、運営にあたる。必要に応じて会長、顧問を置くものとする。任期は2年とし、再任を妨げない。
- (2) 年1回総会を開催する。
- (3) 本会の目的を達成するため必要な各種事業を随時行い、関係会員にその情報を伝える。

6 出資金 正会員は一口（1万円）を出資する。

2. 役員の選出について。会則第5条1に基づき、以下の役員が選出された。

顧問：蔵田市長、牟田広島大学学長／代表幹事金田晋（元総合科学部） 幹事安藤忠男（元生物生産学部） 黒川正流（元総合科学部）
菅川健二（法学部） 山本義雄（元生物生産学部） 各氏

3. 本会ロゴが決定された、制作者難波平人氏（元教育学部）から制作意図の説明（概要は囲み記事参照）があった。

4. そのあと、以下の題で先行活動報告が行われた。

a) 西村清巳氏（元教育学部）「NPO 設立の志 - 七塚原自然体験センターの運営 - 」

かつての県営の七塚原青年の家を引き取って、NPO 七塚原自然体験活動研究センターを設立して、今年で3年目を迎える。小学生から大人まで多彩な企画を毎月のように実施し、自然と共感し、働き、発見し、作物を生産し、食することの楽しさを体験する活動をつづけてきた。反響が徐々に大きくなり、「高原の家」への宿泊客は毎年増えている。地域の人々と共同作業を行ってゆくには、「大学教授であったことの肩書きを捨てよ」の心構えが出発である。

b) 沖村雄二氏（元理学部）「東広島市自然研究会の歩み - 東広島市の自然誌 - 」

もと古生物学を専攻していたが、1991年に発足した同研究会を引き継いで、今日に至る。継続的に研究会活動をしてきた。特に会長に就任して以来、会独自の調査研究に力を入れ、その中から、西条の地層は湖成層ではなく、河川で作られたものであること、西条の酒のもとになる龍王山の名水は流紋岩地帯を通過して生まれるのではなく、南麓の半尾川の扇状地の堆積層から生まれたことなどを明らかにしてきた。現在「東

広島「自然誌」にまとめる努力をしている。

5. 以上の報告の後、出席者の懇談の時間を経て、16時30分、西川恭治氏（元理学部）からの本会への檄をいただき、無事閉会した。終始なごやかな会であり、よき門出を誓い合う一日でありました。
6. 設立総会は、マスメディアでも画期的な知的集団として、大きな期待をもって取り上げられた。だが私たちの年代にとっていちばん大切なことは無理をしないこと、他人の論理に振り回されないこと。お互いが顔を合わせ、その親睦の輪を大事にしながら、意見を出し合い、しかも将来を見据えた大胆な企画をじっししてゆきたい。

4. マスターズのロゴが決定しました



グリーン色のHは、広島大学のアルファベットの頭文字でもあります。同時に二人の人物が向かい合って連帯の握手をしている姿でもあり、色彩で緑の台地をもイメージしています。Hを少し倒しているのは、動きを意識したものです。赤のMはタテ棒をHと共有していますが、基本的に飛び上がる翼、あるいは地を割って生まれる若い双葉をイメージしています。赤は、マスターズの気炎、気概を表しています。

5. HPの作成担当者を募集いたします

本会は、会員相互の交流を深めてゆくうえで、HP等情報ネットワークの充実が求められています。特に明年春、広島大学校友会が発足し、校友会関係のサーバ能力も飛躍的に拡充され、それにとまって本会の情報サービスはもっと活発化し、独自のHPをもつことができるようになります。つきましては会員の方々に中に、HP作成などにご関心をもち、担当してもよいとお考えの方がおられれば、名乗りをあげていただけないでしょうか。